

地区名	大湫地区	番号	1
タイトル	東海自然歩道の環境整備について		
ご意見の内容			
<p>大湫町では、各区において東海自然歩道の清掃作業を行っています。</p> <p>神田区においては、毎月3軒で草刈り・伐採作業を行っています。ゲリラ豪雨・台風の時期になると散策道路の砂利の流出や道路の陥没及び倒木による荒れた景観を目の当たりにしています。散策に訪れた方々は荒れた所だと思いつつ足場の悪い所を散策されています。まちづくりの一環として、豊かな自然を大切に環境整備を行うことで、より多くの人達が大湫宿を訪れ楽しんで散策できるとおもいます。その結果、瑞浪市全体が良くなればよいと思います。</p> <p>国史跡の指定ということで、市でも県とタイアップして中山道の保存活用計画を策定したばかりだと思うが、その取扱いの中でも整備についての方針を立てているが、検討する、努力するといった表現上歯切れの悪い内容になっている部分がある。現場を押さえた上で一般市民の方からの提案のため、もう一度問題意識を持って担当に指示をしていただきたいと思う。</p>			
市長の回答	担当課	商工課 土木課 スポーツ文化課	
<p>近年のゲリラ豪雨や局地豪雨により倒木や土砂が流れてきて大変な状況であるが、地域の皆様のご尽力で急場を凌いでいただいている。</p> <p>市としては災害の被害の大きなところからの優先順位にはなるが、地域で対応しきれないような大きな災害が起こった際は市役所に連絡いただければ対応する。情報をいただきながら一緒にやっていきたいと思う。</p> <p>日々の整備に関しては、瑞浪市で全地域の環境美化・整備を行っていくことは難しい。今は里親制度として、地域の有志の方に道路の清掃活動や草刈りをしていただいております。燃料や軍手など活動するための資材については市で提供することもやっているので活用していただきたい。</p> <p>大湫町には国史跡に指定された中山道があり、整備となると国、県との協議や整備計画の策定が必要になってくる。国史跡に関しては様々な制約もあり、スポーツ文化課と連携し整備について協議していく。</p> <p>具体的な場所があれば今後も区長会を通して要望を上げていただき、史跡に関しては国と協議しながらやっていく。検討するということではなく、必要なところ、対応できるところは対応していく。</p>			

地区名	大湫地区	番号	2
タイトル	大湫町から見た瑞浪市		
ご意見の内容			
<p>大湫町は小学校の統廃合もあり、10年もすれば大湫町はなくなってしまうと思っていたが、ここ数年で少しずつ児童数が増え、今年度は5名の新一年生が釜戸小学校に通っている。大湫町内では転入対策委員の方の努力や子育て支援など市の支援をいただきながらやってきた結果が今であると思う。これが瑞浪市全体にも広がっていくために、市からの支援や県外からの誘致を市からアピールしていただけるとありがたい。</p>			
市長の回答	担当課	市民協働課	
<p>大湫町は先進的に転入対策委員会を早くから立ち上げ、空き家対策にも取り組み、今の成果につながっていると思う。最近では連合自治会でも人口減が課題となっており、大湫町の成功事例を基に日吉町でも動き始めている。各地区の区長会やまちづくり推進組織に指導をお願いしたいと思う。</p> <p>大湫町ではまちづくり推進協議会の方が中心となり、夢づくり地域交付金をうまく活用いただいております、大きな事業となるとステップアップ事業と町の予算を活用し、移住・定住やまちづくりなどの大きな事業につながっていると認識している。今後も意見交換を密にし、いろいろな意見を聞かせていただきながら大湫町を応援していきたいと思う。</p>			

地区名	大湫地区	番号	3
タイトル	少子高齢化と若手流出による人口減少の影響と対策について		
ご意見の内容			
<p>市内全地区に於いて、同じ傾向にあると思う。      特に大湫は人口300名程度で世帯数も120戸という小さな町であり、その傾向、影響は顕著である。      家の後継ぎもない高齢者世帯も多く、どんどん空き家が増え、人の減少もこの先急激に進むことが確実で、宿場間の中山道の保全、里山の保全、農地の管理等が年寄りだけでは無理である。      その対策の1つとして、市では移住・定住の促進事業を展開中で、町内でも転入対策委員会を中心に活動している。若い人が流出していかない例えば雇用の促進等の施策が必要ではないか。</p>			
市長の回答	担当課	商工課 企画政策課	
<p>現在策定中の第7次瑞浪市総合計画にも人口減少を食い止めるために必要な少子化対策事業、移住・定住促進事業について、継続・拡充していかなくてはならないと考えている。      働く場所がないから若い人たちが市外に流出してしまうということは以前からの課題である。前市長の任期中から企業誘致を行っており、市の工業用地はすべて企業誘致が終わっているが、企業の要望に合う面積の用地がない現状である。企業側からすると、瑞浪市に出てきたが人が集まらない、働き手がないとの意見もある。瑞浪市にはたくさんの優秀な企業があるが、そのことを親御さんや子どもたちは知らない。子どもたちに企業を知ってもらうよう発信するためのパンフレットも作成している。高校生対象に企業展を開催し、企業紹介も行っている。またインターンシップを行っている企業を紹介し、若い人たちに企業を判断してもらう制度も行っているのでぜひ活用いただきたい。      工業用地については、市で工業団地を造成する予定はない。今ある企業に雇用を拡大してもらう努力を商工会議所と連携し、各企業に指導していきたい。農地を転用しての企業誘致も新たに検討している。      働く手段として、自ら起業することも奨励している。本市は創業・第二創業に対し、最大500万円を補助する「新たな事業チャレンジ支援補助金」制度を整備している。これまでにこの制度を活用し45の方が創業または第二創業した。本市の魅力を高める活性化施策でもあり、若い人がこの制度を活用し、新しい事業を始めてくれることを期待している。</p>			

地区名	大湫地区	番号	4
タイトル	住みやすい田舎づくり		
ご意見の内容			
<p>妻と3人の子どもと生活をしているが、子育てをしている中で交通面に支障を感じている。車があれば問題ない土地ではあるが、子ども単独でとなると当然まちに行くことはできず、子どもの送り迎えが必要となると妻の仕事も選ばなくてはならない。人も優しく、自然も豊かで普通に過ごす分にはとても良いところではあるが、これにプラス交通の便が良くなれば移住定住の促進につながると思う。デマンド交通制度はいいと思うが中学生までが無料で高校生はお金を払わなければならない、かつ休日の運行がない。今20%しか使われていないとの話もあるので、もう少し使いやすいものにしてもらいたい。</p>			
市長の回答	担当課	商工課	
<p>かつては民間の東鉄バス路線があちこちにあったが、現在は2路線しかない。現在東鉄バスより採算が合わないので運行ダイヤを減らしたいとの提案があり、協議を進めている。恵那市の方の利用もたくさんあり、路線を維持するため、恵那市と一緒に東鉄バスに対し補助の検討を行っている。</p> <p>大湫地区における公共交通は、コミュニティバスとデマンド交通があるが、デマンド交通の利用者が少なくて困っている。コミュニティバスでは毎年路線やバス停を変えながら利便性が維持できるようにしており、デマンド交通では毎年使い勝手のいいものに見直してはいるが、利用率が上がらないことが課題である。高校生の無料化についてなど、また様々な意見をいただきたい。</p> <p>皆さんからのご提案には何らかの手を打ってはいるが実績に結び付いていない。移住・定住のためのパンフレットも作成しているので、ぜひ活用いただきたい。</p>			

地区名	大湫地区	番号	5
タイトル	学生との市長と語る会について		
ご意見の内容			
<p>最近、若い方とディスカッションされ、みんながしっかりと意見を言ってくれたということで、市長が聞いた中で印象的であった話があれば紹介してもらいたい。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>どちらかといえばハード面の話が多かったが、「ハードだけではなくソフトも大事ではないか。子育ての素晴らしいまちになると移住・定住につながる。立派な施設もないよりはあった方がいいが、限られた予算内でとなると暮らしやすい、子育てしやすい、教育が受けやすい、そんな瑞浪市にした方がいいのではないか。」と何人かの生徒が発言してくれた。これに対し、「必要などころに必要な施設を作るが、瑞浪市の素晴らしさは、文化、歴史、芸術、自然であり、これらを生かした調和のとれたまちづくりをしていきたい。」と回答させてもらった。これが一番印象に残った。</p>			

地区名	大湫地区	番号	6
タイトル	大規模商業施設の誘致		
ご意見の内容			
<p>若い子が大人になると流出してしまう方が多い、瑞浪には瑞浪の良さを残していく必要があるとの話であったが、私が引っ越してきて感じたことは、比較的中規模、大規模の商業施設があると人の流出は防げるように思われる。今日の話の中で公共施設の話はたくさん聞いたが、商業施設の誘致の予定について聞きたい。</p>			
市長の回答	担当課	商工課	
<p>瑞浪市の人口は約3万7千人であり、人口比率で言うと大型スーパーや家電量販店の軒数は他市に群を抜いて多い。それぞれの企業が瑞浪市での商売や事業が成り立つということで、瑞浪を選んでいただいている。今のところ現状で十分だと思っており、これ以上市で積極的に大型施設を誘致する予定はないが、企業からのお話があればこれを反対する理由はなく受け入れていきたいと思っている。</p>			

地区名	大湫地区	番号	7
タイトル	病院の統合について		
ご意見の内容			
<p>病院の統合によって何がどう変わっていくのか、どのような診療科ができていくのか、新しくどのような機器が導入されるのか、わかっている範囲で教えてもらいたい。</p>			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>病院の統合により、地域の医療資源を集約し、より高度な医療サービスが可能となる。現在、基本構想・基本計画を策定した段階で具体的なことはお示しできないが、特に市民の皆さんから強い要望をいただいている産婦人科の開設、小児科や麻酔医の増員、各診療科を配置して新しい病院を開設する努力をしていかなければならないと考えている。</p>			

地区名	大湫地区	番号	8
タイトル	今後の大湫公民館について		
ご意見の内容			
<p>去年は市からも予算措置してもらい、大杉の災害復旧ができた。今年は公民館の大規模改修ということで大きな調査予算をつけていただき、また去年岐阜県で唯一の優良表彰ということで大湫公民館を取り上げてもらい大変ありがたい。大湫町民の生涯学習、まちづくりの拠点ということで大事な施設と思っている。公共施設の統合・見直しの話があったが、まちづくりの拠点であることをしっかりと押さえ、現在の公民館の互換性を堅持してもらいたい。今年の調査内容を踏まえ、町民が使いやすい公民館、コミュニティセンターになるよう尽力いただきたい。その捉え方、考え方について聞かせていただきたい。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>大湫公民館をどうしていくかについては、皆さんの意見や提案を聞きながらやっていく予定である。改装するにしても、皆さんの意見を聞きながら反映していきたい。将来の存続についてもできる限り考えたいと思う。</p>			



地区名	大湫地区	番号	9
タイトル	移住促進奨励金について		
ご意見の内容			
<p>移住・定住のパンフレットがあったが、瑞浪市では移住・定住する場合に補助金5万円が出たと思うが、5万円では厳しいのではないか。また、移住してきた場合、自分から申請しないと補助金は出ないのか。この申請方法では、知っている方は申請できるが、知らない方は申請できないのではないのか。</p> <p>市民課協働課が移住・定住の申請の手続きをしているとの話があったが、転出・転入の手続きでどこから来たかわかると思う。その方には市民課から積極的に申請の説明を行っているのか。</p>			
市長の回答	担当課	市民協働課 市民課	
<p>パンフレットにも載っているが、移住促進奨励金として30万円、首都圏からの移住・定住であれば、家族の場合100万円、単身の場合60万円を交付している。これを活用して、移住・定住をご紹介いただければありがたい。</p> <p>市民協働課で申請の手続きが必要となり、そこで紹介をし、希望の方に申請していただいている状況である。広報等で周知を図っているが、知らないというご意見もあるので根気よく発信していきたい。若い子たちにはインターネットで調べると全部わかるようになっており、検索、情報収集することをご紹介いただければありがたい。市としてももっと発信を続けていきたい。ポスターを作成し、JR東海の主要路線の車内や駅に掲示し、瑞浪に興味を持っていただくアプローチも行っている。</p> <p>転入していただく方には、市民課から奨励金の紹介をしている。条件などの詳しい説明については市民協働課で行っている。また若者に移住・定住していただきたいため、今年度は瑞浪市でSNSによる移住・定住に関する専用ポータルサイトを立ち上げて発信している。お気づきの点があればご意見をいただきたい。</p>			